

教科・科目		情報Ⅰ					単位数	2 単位	
							対象学年	第1学年	
担当者	1 組		2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組
	岡本		岡本	岡本	岡本	岡本	岡本	岡本	
教科書		東京書籍 情報Ⅰ Step Forward!							
補助教材		東京書籍 情報Ⅰ Step Forward! 学習ノート							
目標		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		効果的なコミュニケーションの実現のために、コンピュータやデータの活用について理解し技能を身につける。 情報の特性を理解し、問題の発見・解決を行う学習活動を通して、情報と情報技術を適切に活用する。また、情報の利点と欠点について科学的に深く理解させる。			問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。 情報の評価をし、科学的な根拠をもって物事を判断することができる。伝える情報に対して適切なメディアを判断し、科学的な根拠をもって考えられる。		問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。 情報の特性を理解し、その利点と欠点について科学的に深く理解しようとしている。また、問題の解決方法を考案するために、発想法を効果的に活用できる。		
科目の目標		効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解させる。			事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。		情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善させる。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	情報セキュリティ 表計算ソフト利用	知 情報セキュリティ技術について関心を持つ			・情報セキュリティ ・情報モラル ・表計算ソフト「Excel」	知 情報セキュリティの3要素を説明できる		〇〇〇	6
		思 適切なパスワードの利用について				思 適切なパスワードでログインできる			
		学 情報セキュリティについて要点をまとめる				態 情報セキュリティ認証について確認してまとめる			
	知的財産と個人情報 文書作成	知 知的財産権（産業財産権にや著作権）について関心を持つ			・個人情報の保護と管理 ・知的財産権	知 知的財産権について説明できる		〇〇〇	7
		思 webページの知的財産権について				思 著作物の適切な引用について理解している			
		学 産業財産権の4項目を含め知的財産権の項目理解				態 知的財産権について項目を分けてノートをまとめる			
	中間考査							〇〇	実施なし
	2 進数の計算 デジタル表現	知 コンピュータの構造とデジタル化を理解させる。			・コンピュータの構成 ・n 進数と情報量 ・情報のデジタル化	知 コンピュータの構成とデジタル化を理解している		〇〇〇	7
		思 進数や文字・映像・音声のデジタル化について考え、表現させる。				思 進数や文字・映像・音声のデジタル化について考え、表現している。			
		学 情報のデジタル化nについて説明させる				態 情報のデジタル化について説明できる			
	データの分析 2つのデータの 関係	知 モデル化と統計処理について理解させる。			・統計とグラフ化 ・数的シミュレーション	知 問題解決手法や整理手法を理解している。		〇〇〇	7
		思 シミュレーションについて考察させ、表現させる。				思 身近な問題について思考させ、解決方法を表現し			
		学 問題の解決や整理手法を活用できる				態 問題の解決や整理手法を活用する態度でできる。			
	期末考査							〇〇	1

2 学期	アルゴリズムの表現と効率性 プログラムの仕組み	知 論理的思考について理解させる。	・フローチャート ・プログラミング	知 論理的思考について理解している。	〇〇〇	6
		思 アルゴリズムについて思考させ、プログラムで表現させる。		思 アルゴリズムについて思考させ、プログラムで表現している。		
		学 論理的思考を活用する態度を養う。		態 論理的思考を活用する態度できてる。		
	プログラミング	知 プログラミングの3構造を理解させる	・プログラミング	知 プログラミングの3構造を理解している	〇〇〇	7
		思 プログラムが処理される仕組みを理解させる。		思 プログラムが処理される仕組みを理解している		
		学 プログラムのコードを実行させる		態 プログラムのコードを実行できる		
	中間考査				〇〇	実施なし
	コンピュータのしくみ	知 コンピュータの動作の仕組みに関心を持つ	・ワークシート ・周辺機器の接続図	知 コンピュータの動作の仕組みを理解している	〇〇〇	7
		思 コンピュータと周辺機器について理解させる		思 コンピュータと周辺機器について理解している		
		学 コンピュータと周辺機器を利用させる		態 コンピュータと周辺機器を利用できる		
	情報デザイン	知 情報デザインについて理解させる。	・情報デザイン ・書体と配色	知 情報デザインについて理解している	〇〇〇	7
		思 情報デザインについて考えさせ、表現させる。		思 情報デザインについて考え表現できる		
		学 情報デザインを自ら活用する態度を養う		態 情報デザインを自ら活用できる		
	期末考査				〇〇	1
3 学期	情報通信ネットワーク 情報システム	知 ネットワークの構成とに情報システムについて理解させる。	・ネットワークの構成 ・通信プロトコル	知 ネットワークの構成とに情報システムについて理解している	〇〇〇	6
		思 通信プロトコルのしくみを理解させる		思 通信プロトコルのしくみを理解している		
		学 ネットワークの構成について考えさせ、適切に接続させる		態 ネットワークの構成について考えさせ、適切に接続できる		
	問題解決	知 モデル化について理解させる	・数的シミュレーション ・プレゼンテーションの作成	知 モデル化について理解している	〇〇〇	7
		思 シミュレーションについて考察させ、表現させる		思 シミュレーションについて考察させ、表現できる		
		学 論理的思考を活用する態度を養う。		態 論理的思考を活用できる		
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		情報基礎演習				単位数		2 単位	
						対象学年		第3学年	
担当者	1 組		2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組
	岡本		岡本	岡本	岡本	新城	新城	新城	新城
教科書		実教出版 基礎から始める情報リテラシーOffice 2021							
補助教材		東京書籍 Python入門 日経BP編							
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		効果的なコミュニケーションの実現のために、コンピュータやデータの活用について理解し技能を身につける。		問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。			問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。		
科目の目標		効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。			情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。		
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1 学期	情報セキュリティ 表計算ソフト利用	知 情報セキュリティ技術について関心を持つ	・ 情報セキュリティ ・ 情報モラル ・ 表計算ソフト「Excel」			知 情報セキュリティの3要素を説明できる	〇〇〇	8	
		思 適切なパスワードの利用について				思 適切なパスワードでログインできる			
		学 情報セキュリティについて要点をまとめる				態 情報セキュリティ認証について確認してまとめる			
	知的財産と個人情報 文書作成	知 知的財産権（産業財産権に著作権）について関心を持つ	・ 個人情報の保護と管理 ・ 知的財産権			知 知的財産権について説明できる	〇〇〇	8	
		思 webページの知的財産権について				思 著作物の適切な引用について理解している			
		学 産業財産権の4項目を含め知的財産権の項目理解				態 知的財産権について項目を分けてノートをまとめる			
	中間考査						〇〇	実施なし	
	2 進数の計算 デジタル表現	知 コンピュータの構造とデジタル化を理解させる。	・ コンピュータの構成 ・ n 進数と情報量 ・ 情報のデジタル化			知 コンピュータの構成とデジタル化を理解している	〇〇〇	8	
		思 進数や文字・映像・音声のデジタル化について考え、表現させる。				思 進数や文字・映像・音声のデジタル化について考え、表現している。			
		学 情報のデジタル化nについて説明させる				態 情報のデジタル化について説明できる			
	データの分析 2つのデータの 関係	知 モデル化と統計処理について理解させ	・ 統計とグラフ化 ・ 数的シミュレーション			知 問題解決手法や整理手法を理解している。	〇〇〇	8	
		思 シミュレーションについて考察させ、表現させる。				思 身近な問題について思考させ、解決方法を表現し			
		学 問題の解決や整理手法を活用できる				態 問題の解決や整理手法を活用する態度でできる。			
	期末考査						〇〇	実施なし	

2 学期	アルゴリズムの表現と効率性 プログラムの仕組み	知 論理的思考について理解させる。	・フローチャート ・プログラミング	知 論理的思考について理解している。	〇〇〇	8
		思 アルゴリズムについて思考させ、プログラムで表現させる。		思 アルゴリズムについて思考させ、プログラムで表現している。		
		学 論理的思考を活用する態度を養う。		態 論理的思考を活用する態度できてる。		
	プログラミング	知 プログラミングの3構造を理解させる	・プログラミング	知 プログラミングの3構造を理解している	〇〇〇	8
		思 プログラムが処理される仕組みを理解させる。		思 プログラムが処理される仕組みを理解している		
		学 プログラムのコードを実行させる		態 プログラムのコードを実行できる		
	中間考査				〇〇	実施なし
	コンピュータのしくみ	知 コンピュータの動作の仕組みに関心を持つ	・ワークシート ・周辺機器の接続図	知 コンピュータの動作の仕組みを理解している	〇〇〇	8
		思 コンピュータと周辺機器について理解させる		思 コンピュータと周辺機器について理解している		
		学 コンピュータと周辺機器を利用させる		態 コンピュータと周辺機器を利用できる		
	情報デザイン	知 情報デザインについて理解させる。	・情報デザイン ・書体と配色	知 情報デザインについて理解している	〇〇〇	7
		思 情報デザインについて考えさせ、表現させる。		思 情報デザインについて考え表現できる		
		学 情報デザインを自ら活用する態度を養う		態 情報デザインを自ら活用できる		
	期末考査				〇〇	実施なし
3 学期	情報通信ネットワーク 情報システム	知 ネットワークの構成とに情報システムについて理解させる。	・ネットワークの構成 ・通信プロトコル	知 ネットワークの構成とに情報システムについて理解している	〇〇〇	7
		思 通信プロトコルのしくみを理解させる		思 通信プロトコルのしくみを理解している		
		学 ネットワークの構成について考えさせ、適切に接続させる		態 ネットワークの構成について考えさせ、適切に接続できる		
					〇〇〇	
	期末考査				〇〇	実施なし

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度